つくしの里通信

会　報
第6号

発行日：　平成 28 年 8 月 23 日
発　行：　特定非営利活動法人 つくしの里 福祉会　**就労継続支援B型事業所 つくしの里**
〒　960－1241　　福島県福島市松川町字平舘１１－１
ＴＥＬ　　０２４－５６３－１５１５
ＦＡＸ　　０２４－５６３－１５１６

ご あ い さ つ

特定非営利活動法人 つくしの里福祉会　　理 事 長　**八幡　嘉晃**

７月１０日に行われた第２４回参議院議員通常選挙は、選挙権年齢が１８歳以上に引き下げられてから初の国政選挙となりました。争点としては憲法改正及び経済政策が目立ちました。憲法や経済政策は重要なことである事は誰もが承知していることでありますが、国民生活のセーフティーネットのほころびは、貧困を巡る裾野の拡大と世代間の継承というように社会不安を増大させかねない深刻な現象にあることは紛れもない実態であり、社会保障制度に関することが争点の前面から影を潜めていたのは残念なことであります。

さて、障がい者福祉を巡る動向につきましては、総合支援法施行後３年を目途とした見直しが行われ、障がい者の高齢化に対応することを柱とする改正が行われました。また、障害者差別解消法が４月１日に施行されたところですが、市町村における地域協議会の設置及び条例制定さらには市民への周知が求められるところです。また、７月２６日未明に起きた神奈川県の障がい者支援施設における利用者殺傷事件は、いかなる事情があったにせよ断じて容認できることではありません。このようなことが二度と起きることのないように切に念ずるところです。いずれにいたしましても将来にわたり安定した障がい者福祉制度が構築されて、障がいのある人の権利が一層尊重され、その人らしく実りある人生を送ることができる共生社会の実現を願うところであります。そのような中にあって、つくしの里福祉会は至らぬところはありますが、障がいのある方一人ひとりが豊かな自己実現は図ることができるように、就労支援をはじめとする個々が必要とする支援を行っております。市井の皆様には今後も変わらぬご理解をいただくとともに、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

お世話になっている皆様

つくしの里は地域の方々から多くのご支援を頂きながら活動を続けております。

今号から始まりましたこのコーナーでは、そのような温かなご支援に深い感謝の気持ちを込めまして、皆様にご紹介いたします。

最初は、つくしの里の建物をお貸し頂いている、大家さんの丹野様をご紹介いたします。旧4号線沿い、松陵中学校の近所に「和洋菓子美ずはら・町のパン屋さんのんた」を構えておられます。賃貸契約だけでなく、移転の際に看板を作って下さり、改装や日々の建物保守点検にもご尽力頂いております。

つくしの里の建物はその旧店舗をお借りしています。とてもおしゃれな作りで、山小屋風の建物は木の温もりが溢れ、外観から天井まで美しく、こだわりが感じられます。2階の窓からは吾妻小富士が眺望でき、自然豊かな松川の景色を存分に楽しむことができます。その広い空間を活用し、彼岸花作りなど日々の活動を行っております。

次に倉庫をお貸し頂いている、渡辺さんです。例を挙げたらきりがないほど、事あるごとに快くご尽力頂いております。

つくしの里は1年を通して彼岸花を生産していますが、販売は春彼岸前の2～3月だけです。特に年末頃から出荷待ちの製品を何万本と保管しなければならず、倉庫の確保は必須です。何棟もある広い倉庫でも、その時期はそれでも足りずに所狭しと彼岸花が並びます。

他にも木材、トラクター、除雪機・・・沢山の荷物を倉庫に保管しています。また、小規模ではありますが畑を耕し、ジャガイモや里芋などの野菜も育てています。

今回は日々の活動の基盤となる土地建物をお借りしている方をご紹介いたしました。拠点がしっかりしているからこそ、安定したサービスを提供する事が出来ます。つくしの里が平館の地に移ってもなお、楽しく安心して日々の活動を続けられるのは、地域の方々のご理解とご協力の賜物です。心から御礼を申し上げます。地域の皆様方におかれましては、どうかこれからも今までと変わらぬ温かいご支援を宜しく願い致します。

郡山カルチャーパーク

去る７月８日郡山カルチャーパークに行ってきました♪
ジェットコースターやバイキング、メリーゴーランド、ゴーカートなど、各々乗りたい物を選んで楽しみました。自治会で遊園地に行きたいとの意見があり、天気の都合で延期が続きましたが、やっと叶えることができました。少し遠出の小旅行。初めての方も多く、みなさん笑顔であふれていました。
ジェットコースターが怖かったのは内緒です……。

事業所見学

５月に「アートさをり」さんを見学させて頂きました。さをり織りの体験や演奏を聴いたり一緒に歌ったり、普段できない体験♪商品棚にはとても綺麗で可愛いものが数多く販売されておりました。

また７月に「青いそら」さんが新しく地域活動センター「小麦の家」をオープンし、昼食にご招待頂きました。手打ちのうどんなどとても美味しく頂きました。

お 花 見

４月１３日に梁川希望の森公園でお花見をしました。当日はとても寒かったのですが、満開の桜の下でお弁当を食べました。大泉公園では大きな遊具で汗が出るほど運動しました。

運 動 ・ 食 事 会

６月２２日お隣のエスポアールさんで食事をした後、立子山自然の家で運動を行いました。夏に向けて心と身体の健康のために色々なゲームをして、身体を動かしました。

つくしの里の 新しい仲間たち

２８年度４月から、高等部を卒業した〇〇〇〇さんが新しく仲間に加わりました。７月からは齋藤定一さんも加わり、１４名が現在つくしの里を利用しています。慣れない環境の中で不安なこともあると思いますが、それぞれの目標を目指して前に進んでいる最中です。これからも、どうぞよろしくお願いします♪

27年度 皆 勤 賞

４月１３日に２７年度、１日も休まずに通所した〇〇〇〇さん〇〇〇〇さんの２名を表彰しました！２７年度は２５３日の通所日がありましたが、休むことなく通所できたのはとても素晴らしいことだと思います。

また、全体でも９０％以上の高い出席率です。これからも元気で体調に気遣いながら頑張りましょう！

つくしの里の職員として・・・。

神野　義紀

つくしの里に就職して半年が経ちました。今まで福祉関係の仕事をしたこともなく、戸惑っているのが正直なところです。それでも、利用者の方と接したり、先輩職員と業務をともにしたりするうちに、大変だけど、やりがいのある面白い仕事だと思うようになりました。

面接の時、理事長から「人が嫌いじゃなかったら、人が好きだったら、案外楽しい仕事だと思うよ」という言葉が思い出されます。

今後、仕事を続けるにあたり、福祉人としての使命感や責任感を持ち、組織内での協調のもと目標を達成できる職員。専門性・組織性・人間性プラス柔軟な物の見方や考え方ができ、利用者の多様なニーズに柔軟に対応できる職員を目指して頑張りたいと思っています。

経験値や知識力はまだありませんが、やる気だけは他の職員には負けないように心掛けたいと思います。

賛 助 会 員 募 集

特定非営利活動法人つくしの里福祉会は、障がい者の自立と社会参加、及び生きがい作りに関する事業を行い、障がい者の社会参加の推進と地域の親交を通じ、障がい者への偏見等の差別を是正し、地域社会からの理解を深めることを目的として活動をしております。

このような施設の目的、活動に賛同し、ご支援くださる賛助会員を随時募集しております。何卒、社会福祉活動にご理解いただき、ご支援の程宜しくお願いいたします。

年会費　１口　１，０００円　から

２８年度 賛助会員のご紹介

福 島 市　〇〇〇〇 様　　福 島 市　㈱丸福織物　様
福 島 市　〇〇〇〇 様

２７年度は「個人会員８名様、団体会員９団体様」から、賛助会員として温かいご支援を賜りました。この場をお借りして、心からの御礼を申し上げます。

会費は社会福祉活動に有効に活用させて頂きました。

編 集 後 記

今年の台風１号は７月になってようやく発生し、観測史上２番目に遅く、そして稀な強さだったそうです。更にお盆明けには台風が三つ巴で日本列島に接近する等、近年はめったにないことが、度々ニュースになることが多い様な気がします。

今回、つくしの里でお世話になっている方々への感謝のページを設けました。改めて記事にすると、多くの皆様から支えられていることに気付かされ、そのたびに感謝の気持ちに胸を打たれます。

皆様から頂いた温かいご支援と、つくしの里全員の努力が交わって、日々の生産活動で一本、また一本と彼岸花を咲かせているようです。ですから、つくしの里の彼岸花はどこよりも誇り高く、愛らしく、そして温かい花だと、私はそう信じています。

感謝のページは、構成上少しずつではありますが、次回以降も続けて記事にしたいと考えております。

最後に、これからも変わらぬご支援、ご協力を、宜しくお願い致します。